

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	企業立地推進事業			担当	経済部 産業労働政策課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	258-1619	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-2 活力ある工業等の振興-② 企業立地及び業務拡張等の支援					
根拠法令等	川口市企業立地補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	事業者	事業者及び市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	・民間事業者の事業用土地等需要に応えるため。(川口市土地バンク事業) ・産業の空洞化防止、既存企業への波及効果並びに雇用機会の拡大を目指すため(企業立地補助金)	・市保有地の活用や民間団体との連携により、事業者の立地促進を図る。(川口市土地バンク事業) ・市内において新たに事業を開始または事業拡張のために一定規模以上の新設・増設を行う製造事業者に対し補助金を交付する。(企業立地補助金)	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・関連する団体のHPに川口市土地バンク事業へリンクするバナー広告を掲載 ・企業立地補助金の申請があった企業に対して、精査の結果補助金を交付	企業の立地促進を図ることで、市内経済の活性化につながった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	企業立地補助金の交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	固定資産税等相当額補助金および貸工場賃借料相当額補助金における予算要求件数の80%				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	10.40		8.00		12.80		11.20		0.00
指標②	名称	土地バンク事業バナー広告の掲載件数			指標・目標値の説明(算定式)	各関連団体のHPにバナーを掲載した件数				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	3.00		3.00		3.00		3.00		0.00

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7 款	1 項	2 目	2 細目	8 細々目	企業立地推進事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	5,686	13,819		20,950		18,255		18,255		
決算額(B)=(C)+(D)	3,476	9,851		16,224						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	3,476		9,851		16,224		18,255		18,255
概算人件費(E)	4,582		3,871		4,661		6,545		6,545	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.58	0.00	0.49	0.00	0.59	0.00	0.85	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,058		13,722		20,885		24,800		24,800	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	新たに工場を設置する事業者へのさらなる周知方法を検討するとともに、事業者にとって利用しやすい制度となっているか見直しを行う。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

部会名	第二部会	担当課	産業労働政策課
事業名	企業立地推進事業		

I 定量評価（評価の各観点について、一定の基準に基づいた数値による評価）

	評価の観点					選択肢	
	①趣旨・目的及び達成手段	②事業の効果	③事業の効率化	④課題解決への取り組み	⑤今後の事業の方向性		
A委員	2	1	2	1	1	4 適正	適正な事業運営がなされている
B委員	2	2	2	2	1	3 概ね適正	工夫や改善の余地があるが、概ね適正な事業運営がなされている
C委員	-	-	-	-	-	2 改善の必要あり	概ねこのままの事業運営で差し支えないが、工夫や改善が必要である
D委員	3	3	2	2	2	1 抜本的見直し	抜本的に事業の運営を見直したほうがよい
E委員	2	2	1	1	2		
部会全体	2	2	2	2	2		

II 定性評価（評価の各観点について、意見やアドバイス等のコメントによる評価）

No.	評価の観点	評価コメント
1	①趣旨・目的及び達成手段	土地バンク事業の必要性に疑問がある。民間に対する優位性が上がらなければ事業を止めるべきではないか。
2	①趣旨・目的及び達成手段	土地バンク事業に活用できる市の保有地を確保するべきではないか。
3	①趣旨・目的及び達成手段	新規の実績が少ない。目的は良いが、手段に工夫が必要。
4	②事業の効果	土地バンク事業に成果がない。企業立地補助金についても十分な成果がない。
5	②事業の効果	土地バンク事業は、実際の効果が不明。企業立地補助金は年間2～3件と少なく、効果が高いとは言えない。
6	③事業の効率化	土地バンク事業については、今後成果が上がらないのであれば、民間に任せるべきではないか。
7	③事業の効率化	企業立地推進事業は補助金を支出するのみで、補助事業としての検証が十分に行なっていない。
8	④課題解決への取り組み	当事業におけるアンケートを実施し、その結果について分析・検証を行ったうえで事業の見直し等、必要な措置を講じていくべきではないか。
9	⑤今後の事業の方向性	効率が上がる方法を分析・検証したうえで事業を再考すべきである。

No.	評価の観点	評価コメント
10	⑤今後の事業の方向性	現時点において、市有地もほぼなく、企業側が必要とする広い土地のマッチングもほぼないのであれば、市で行う事業としては見直すべきではないのか。
11	⑤今後の事業の方向性	川口市全体で考えると、川口はやはり「商工の街」としてこれからも発展させていくべきではないか。そう考えると、この事業についてももっと活発に推進してほしいと思う。
12	⑤今後の事業の方向性	今後アンケートを実施するというのは良い方向への一歩。
13	⑥事業全体を通した総合的な評価	単なるマッチングのみ、かつ成約件数も少ないといった実状を鑑みると、土地バンク事業については廃止とまでは言わなくとも、事業そのものを抜本的に見直すべきだと考える。
14	⑥事業全体を通した総合的な評価	アンケートの結果を分析し、その結果を踏まえたうえで、今後の企業誘致、雇用の増加、税収の増加に向け、どのような政策が必要か検討してほしい。 土地バンク事業は誤解を与えぬように、実態に即した名称に改め、実際に契約に至ることの出来る方策を実施すべき。それでも効果がないなら廃止すべきである。

【評価結果まとめ】

①趣旨・目的及び達成手段	
2 改善の必要あり	土地バンク事業は民間に対して優位性がなく、必要性に疑問がある。今すぐ止めるということにはならないが、この取り組みの今後の成果を見せてほしい。それによっては止めても良いのではないか。
②事業の効果	
2 改善の必要あり	土地バンク事業、企業立地補助金事業ともに、十分な成果が上がっているとは言えない。
③事業の効率化	
2 改善の必要あり	土地バンク事業については、今後成果が上がらないのであれば、民間に任せるべきではないか。
④課題解決への取り組み	
1 抜本的見直し	アンケートを実施し、まずは課題が何かを把握する必要がある。
⑤今後の事業の方向性	
1 抜本的見直し	企業立地補助金事業は、事業の効率化等を測定するためのアンケートを行い、補助金の効果性が上がるか等の分析、検証をしたうえで、事業の見直しを図っていく必要がある。
⑥事業全体を通した総合的な評価	